令和　８年（ケ）第　　５３号

期　間　入　札　の　公　告

令和　８年１１月１７日
福岡地方裁判所第４民事部
裁判所書記官　原　田　　恵

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和　８年１２月　２日から 令和　８年１２月　９日まで	
開札期日	日　時 場　所	令和　８年１２月１５日　午前　９時３０分 福岡地方裁判所売却場
売却決定期日	日　時 場　所	令和　９年　１月　７日　午前　９時５０分 福岡地方裁判所第４民事部
買受申出の保証の提供方法		下記のいずれかによる。 （１）当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 （２）銀行，損害保険会社，農林中央金庫，商工組合中央金庫，全国を地区とする信用金庫連合会，信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の制限（民事執行規則３３条）		☆印を付した物件は農地であるので，権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り，買受申出をすることができます。同証明書の交付については，物件所在地の農業委員会にお尋ね下さい。
一般の閲覧に供するため，物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和　８年１１月１７日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。		

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和８年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	3,790,000 3,032,000	一括	758,000	210,325	0
1	1,440,000				
2	1,650,000				
3	700,000				
備考					

令和　８年（ケ）第　　５３号

物　件　目　録

１　所　　在　　朝倉市甘木字八日町

　　地　　番　　７７３番

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　１７６．７９平方メートル

　　共有者　Ａ　持分２４分の９
　　共有者　Ｂ　持分２４分の９
　　共有者　Ｃ　持分２４分の６

２　所　　在　　朝倉市甘木字八日町

　　地　　番　　７７４番

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　２０３．００平方メートル

　　共有者　Ａ　持分２４分の９
　　共有者　Ｂ　持分２４分の９
　　共有者　Ｃ　持分２４分の６

３　所　　在　　朝倉市甘木字八日町７７４番地、７７３番地

　　家屋　番号　　７７４番

　　種　　類　　旅館

　　構　　造　　鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根２階建

　　床　面　積　　１階　　２３１．２１平方メートル
　　２階　　２８５．１２平方メートル

（現況）

　　床　面　積　　１階　　約２５０．２１平方メートル
　　２階　　２８５．１２平方メートル

令和　8年（ケ）第　　53号

物　件　目　録

共有者　A　持分２４分の９
共有者　B　持分２４分の９
共有者　C　持分２４分の６

令和　８年（ケ）第　　５３号

物　件　明　細　書

令和　８年　９月１１日
福岡地方裁判所第４民事部
裁判所書記官　牧　山　利　春

1　不動産の表示
【物件番号１～３】
別紙物件目録記載のとおり

2　売却により成立する法定地上権の概要
なし

3　買受人が負担することとなる他人の権利
【物件番号１～３】
なし

4　物件の占有状況等に関する特記事項
【物件番号１～３】
本件所有者が占有している。

5　その他買受けの参考となる事項
【物件番号２】
本件土地上に現存しない建物（家屋番号なし）の登記が存在する。

《　注　　意　　書　》

1　本書面は，現況調査報告書，評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり，関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。

2　記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし，記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので，必ず，現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。

3　買受人が，占有者から不動産の引渡しを受ける方法として，引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は，「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。

4　対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

5　各種「詳細説明」は，閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

令和　8年（ケ）第　　53号

物　件　目　録

1　所　　在　　朝倉市甘木字八日町

　　地　　番　　７７３番

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　１７６．７９平方メートル

　　共有者　A　持分２４分の９
　　共有者　B　持分２４分の９
　　共有者　C　持分２４分の６

2　所　　在　　朝倉市甘木字八日町

　　地　　番　　７７４番

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　２０３．００平方メートル

　　共有者　A　持分２４分の９
　　共有者　B　持分２４分の９
　　共有者　C　持分２４分の６

3　所　　在　　朝倉市甘木字八日町７７４番地、７７３番地

　　家屋　番号　　７７４番

　　種　　類　　旅館

　　構　　造　　鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根２階建

　　床　面　積　　１階　　２３１．２１平方メートル
　　　　２階　　２８５．１２平方メートル

（現況）

　　床　面　積　　１階　　約２５０．２１平方メートル
　　　　２階　　２８５．１２平方メートル

令和　8年（ケ）第　　53号

物　件　目　録

共有者　A　持分２４分の９
共有者　B　持分２４分の９
共有者　C　持分２４分の６

令和８年（ケ）第５３号
令和８年６月２日受理
令和８年８月３日提出

現況調査報告書

福岡地方裁判所

執行官　井　手　義　治

（注）チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

令和　８年（ケ）第　　５３号

物　件　目　録

１　所　　在　　朝倉市甘木字八日町

　　地　　番　　７７３番

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　１７６．７９平方メートル

　　共有者　Ａ　持分２４分の９
　　共有者　Ｂ　持分２４分の９
　　共有者　Ｃ　持分２４分の６

２　所　　在　　朝倉市甘木字八日町

　　地　　番　　７７４番

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　２０３．００平方メートル

　　共有者　Ａ　持分２４分の９
　　共有者　Ｂ　持分２４分の９
　　共有者　Ｃ　持分２４分の６

３　所　　在　　朝倉市甘木字八日町７７４番地、７７３番地

　　家屋　番号　　７７４番

　　種　　類　　旅館

　　構　　造　　鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根２階建

　　床　面　積　　１階　　２３１．２１平方メートル
　　２階　　２８５．１２平方メートル

　　共有者　Ａ　持分２４分の９
　　共有者　Ｂ　持分２４分の９
　　共有者　Ｃ　持分２４分の６

不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	住居表示未実施
土地	物件１，２
現況地目	■宅地（物件１，２）　□公衆用道路（物件　　）　□雑種地（物件　　）
形状	■公図のとおり　　□地積測量図のとおり □建物図面（各階平面図）のとおり　　□土地建物位置関係図のとおり
占有者及び占有状況	■土地共有者　　□その他の者 上記の者らが本件土地上に下記建物を共有して占有している □「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物（目的外建物）	■ない □ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）
その他の事項	
建物	物件３
種類，構造及び床面積の概略	□公簿上の記載とほぼ同一である。 ■公簿上の記載と次の点が異なる（■主たる建物　□附属建物） □種　類： □構　造： ■床面積：１階　約２５０．２１㎡（約１９㎡増築） ２階　２８５．１２㎡
物件目録にない附属建物	■ない □ある ┬ 種　類： 　　構　造： 　　└ 床面積：
占有者及び占有状況	■建物共有者　　□その他の者 上記の者らが本件建物を旅館(空き家)として使用している □「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地（目的外土地）	■ない □ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）
その他の事項	
執行官保管の仮処分	■ない □ある ┌ 地方裁判所　支部　平成　年(　)第　号 　　└ 保管開始日　平成　年　月　日
土地建物の位置関係	□建物図面（各階平面図）のとおり　　■土地建物位置関係図のとおり

（注）チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

関　係　人　の　陳　述　等

陳　述　者 （当事者等との関係）	陳　述　内　容　等
■共有者Ａ，同Ｂ	1　物件３建物は，現在は空き家の状態なっており，誰かに貸したりはしていません。 2　共有者Ａ，Ｂ，Ｃは姉妹の関係になりますが，共有者間で賃料のやり取りや取り決めは特にありません。 3　物件３建物は，全体的に老朽化して複数箇所で雨もりがしており，床板や壁も多数損傷箇所があります。 4　物件３建物１階の増築部分は，約２４年頃前に亡父が増築したものです。また，約５年頃前に食堂を亡母が改装しています。 5　物件１，２各土地について，隣地との境界に争いはありません。
■共有者Ｃ	1　物件３建物は，誰にも貸していません。 2　共有者Ａ，Ｂは戸籍上の親族になりますが，共有者間で賃料のやり取りや取り決めは特にありません。

（注）チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

執 行 官 の 意 見

■１（接道）
物件１，２各土地は，公図のとおり，公道（(公図上の表記は「道」)）に接道している。
なお，物件１，２各土地は一体として物件３建物の敷地として使用されている。

２（形状等）
物件１，２各土地と隣地との境界と思われる付近には，コンクリートブロック塀等が存在する。

３（占有状況等）
物件３建物の占有状況等については，関係人の陳述，立入調査の結果等から２枚目記載のとおりと認めた。

４（損傷等）
物件３建物は，関係人の陳述のとおり，全体的に経年に伴う老朽化が認められた。特に，複数箇所で雨もりがしており，天井や床等が大きく損傷している部分が多数見受けられた。

５（従物等）
本件土地建物の従物等として井戸及びポンプが存在する。

６（現存しない建物登記）
物件２土地上に次のとおりの現存しない建物登記が存在する。
所　　在　甘木市大字甘木字八日町７７４番地
家屋番号　なし(未登記)
種　　類　居宅
構　　造　木造瓦葺２階建
床 面 積　１階　１９．８３平方メートル
　　２階　１９．８３平方メートル

（注）チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

（調査経過用）

調　査　の　経　過

調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
R　8年　6 月 2 日（火） 9:30－9:40	執行官室	建物図面請求
R　8年　6 月 2 日（火） 9:00－9:20	福岡法務局 朝倉支局	公図，地積測量図等の調査
R　8年　6 月 2 日（火） 11:00－11:30	執行官室	占有状況等について申立人代理人から電話聴取
R　8年　6 月 8 日（月） 9:40－10:00	物件所在地	現地特定，写真撮影
R　8年　7 月 6 日（月） 11:00－12:00	物件所在地	立入調査，写真撮影，共有者Ａ，Ｂから口頭聴取
R　8年　7 月 24 日（金） 9:00－9:10	執行官室	占有状況等について共有者Ｃに対し書面照会

（特 記 事 項）

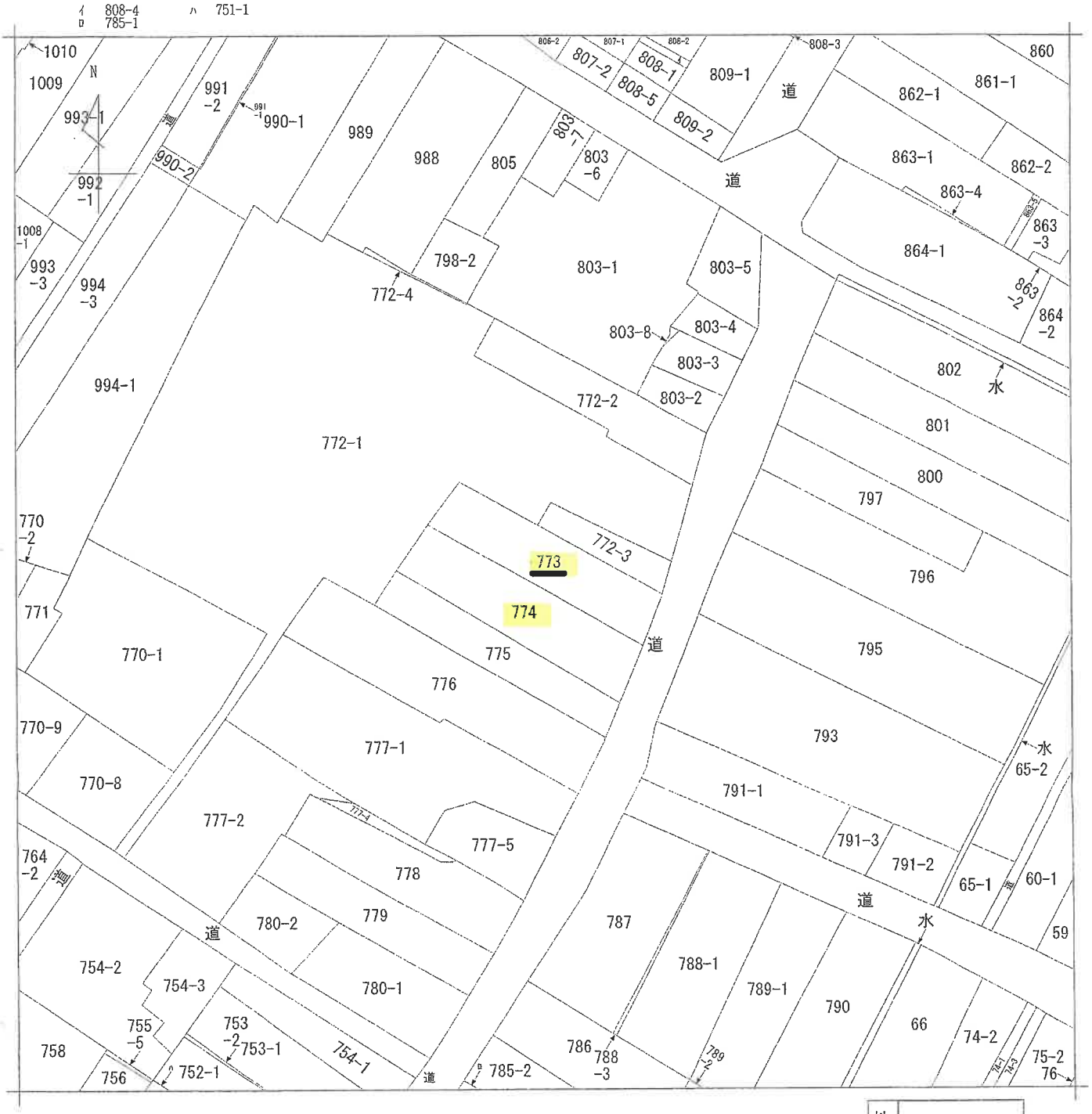
□　令和　　年　月　日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので，解錠技術者及び立会人を同行して臨場した。解錠することができなかった。

■　令和8年7月6日
目的物件は不在で施錠されていたので，立会人Ｄ を立ち会わせ，解錠技術者に解錠させて，建物内に立ち入った。

□　令和　　年　月　日
休日・夜間執行許可の提示をした。

□

（注）チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	甘木

請求部分	所在	朝倉市甘木字八日町			地番	773番			
出力縮尺	1/500	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	地籍図
作成年月日			備付年月日（原図）			補記事項			

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年6月8日
福岡法務局朝倉支局
[redacted]

請求番号：3-1

(1/1)

(6枚目)

A４判に縮小　公用

公用

登記年月日：昭和56年12月9日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和8年6月8日　福岡法務局朝倉支局

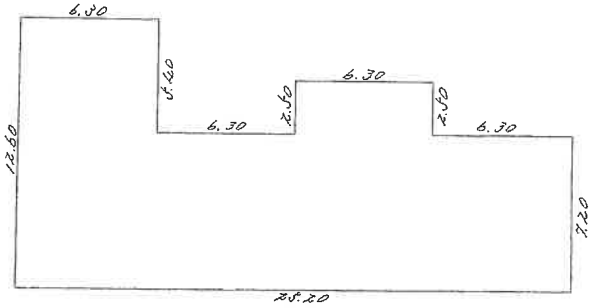
(7枚目)

S56.12.9 各階平面図　500947

建物図面 各階平面図

家屋番号	774
建物の所在	~~甘木市大字~~甘木字八日町　774番地、773番地 朝倉市

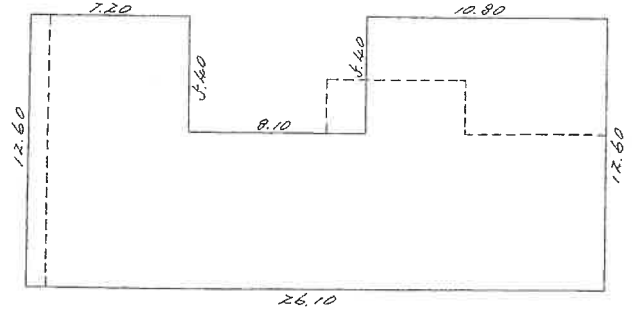
一階



** ユカ メンセキ **

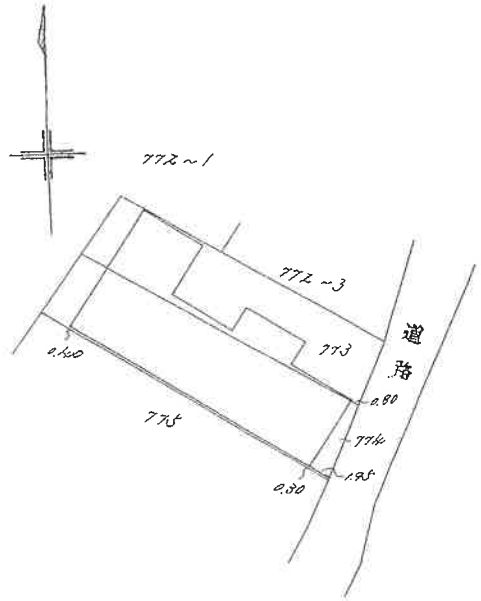
5.400 X 6.300 = 34.020000
2.500 X 6.300 = 15.750000
7.200 X 25.200 = 181.440000
ケイ 231.210000
床面積 231.21 ㎡

二階



** ユカ メンセキ **

5.400 X 7.200 = 38.880000
5.400 X 10.800 = 58.320000
7.200 X 26.100 = 187.920000
ケイ 285.120000
床面積 285.12 ㎡



作製者	[redacted]	縮尺	1/250

(福岡県土地家屋調査士会)

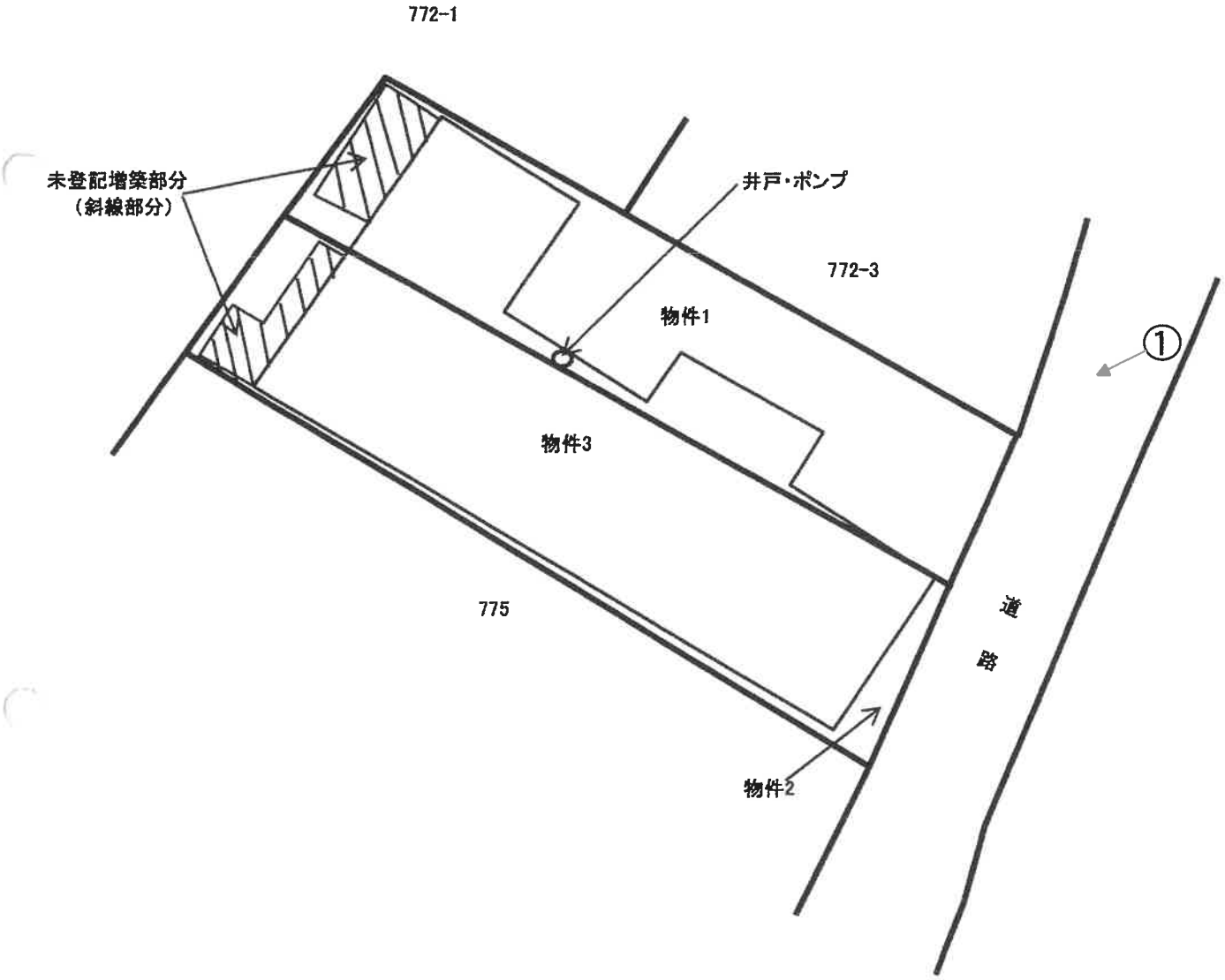
申請人	[redacted]	縮尺	1/500

A4判に縮小

請求番号：3-3

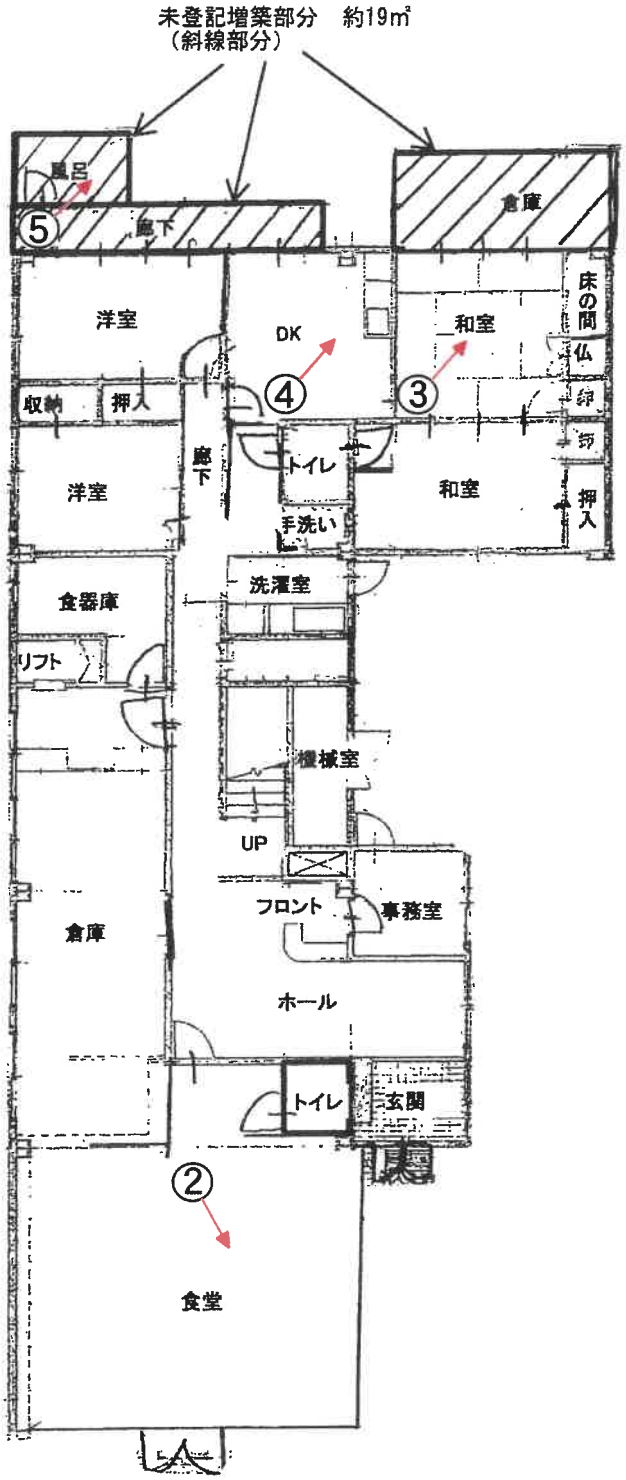
土地建物位置関係図

写真撮影位置方向



間取図

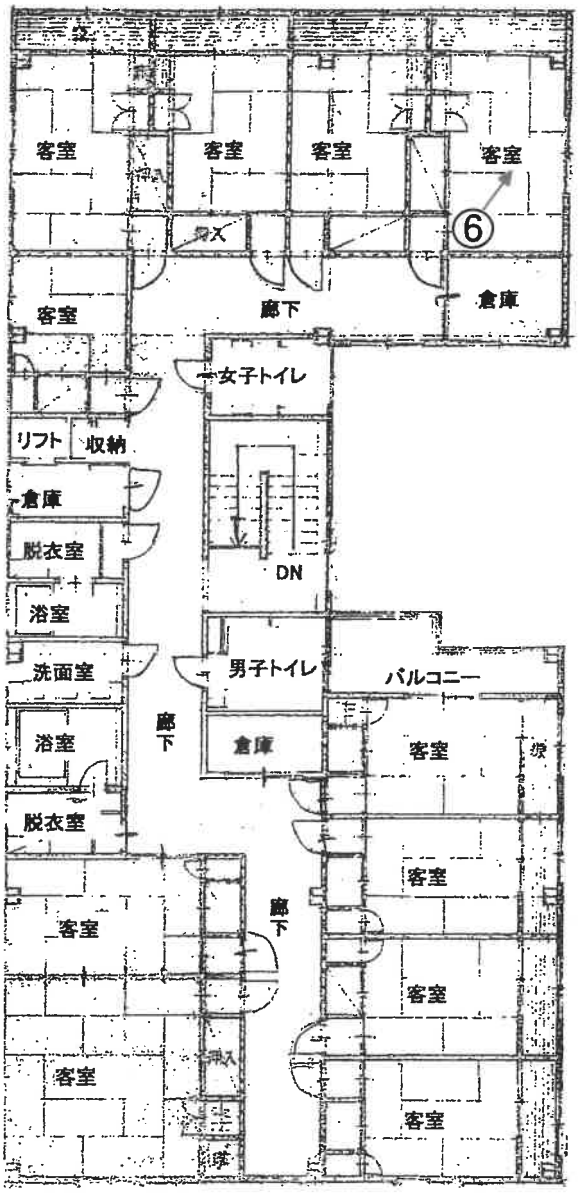
写真撮影位置方向



1階

間取図

写真撮影位置方向



2階



No. 1

物件１，２各土地及び物件３建物を撮影



No. 2

物件３建物の室内を撮影



No. 3

物件３建物の室内を撮影



No. 4

物件３建物の室内を撮影



No. 5

物件３建物の室内を撮影



No. 6

物件３建物の室内を撮影

令 和 8 年 （ケ）第　53　号
令 和 8 年 7 月 6 日 現地調査
令 和 8 年 7 月 23 日 評　　価

福岡地方裁判所　　御中

評　　価　　書

評価人　　不動産鑑定士
福　山　道　和

第１　評価額

一　　括　　価　　格	
金 3,790,000 円	
内　　訳　　価　　格	
物件1（土地）	金 1,440,000 円
物件2（土地）	金 1,650,000 円
物件3（建物）	金 700,000 円

①　一括価格は、物件１～３の各不動産について、一括売却（民事執行法６１条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。

②　内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。

③　物件１～２の内訳価格は物件３ための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件３の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第２　評価の条件

1　本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

2　評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については、原則として考慮していない。

3　現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。

4　物件に関する情報提供の内容は、民事執行法５８条４項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第３　目的物件

番号	所在等	登記	現況
1	所在 地番 地目 地積	朝倉市甘木字八日町 773　番 宅地 176.79　㎡	特記事項のとおり
2	所在 地番 地目 地積	朝倉市甘木字八日町 774　番 宅地 203.00　㎡	同上
3	所在 家屋番号 種類 構造 床面積	朝倉市甘木字八日町774番地、773番地 774　番 旅館 鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階　231.21　㎡ 2階　285.12　㎡	同上

番号	特記事項
1・2	・数量については、地積測量図がなく、また現地の状況や建物の配置等により正確に確認できないが、登記及び公図と現地における状況がおおむね符合するので、登記地積を採用して評価した。
3	・1階部分に未登記の増築がある。 登記面積 516.33㎡ ＋ 増築概測面積 約19㎡ ＝ 現況床面積 約535.33㎡
住居表示	住居表示未実施

第４　目的物件の位置・環境等

１．土地の概況及び利用状況等（物件１・２一体）

位置・交通（直線距離）	甘木鉄道「甘木」駅の東方、約600m。 甘木観光バス「希声館前」停留所の南西方、約160m。 （別添「位置図」参照）	
付近の状況	対象不動産の所在する近隣は、低層店舗、店舗兼居宅、戸建住宅等が建ち並ぶ旧来からの商業地域である。今後とも地域の状況に変化はなく、現状を維持するものと思われる。	
主な公法上の規制等 （道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制）	都市計画区分	非線引都市計画区域
	用途地域	商業地域
	建ぺい率	80%
	容積率	400%
	防火規制	準防火地域
	その他の規制	特になし
画地条件	地積	379.79㎡　（合計登記地積）
	形状	ほぼ長方形（概ね公図のとおり）
	間口	約14m
	奥行	約31m
	接道関係	一方路
	その他	特になし
接面道路の状況	南東側で幅員約 6.1 mの舗装　市道 と概ね等高に接面。 （建築基準法第42条第1項の道路に該当）	
土地の利用状況等	「現況調査報告書」記載のとおり。	
供給処理施設	上水道　：あり（井戸併用） ガス配管　：なし 下水道　：あり （注）敷地内への引き込みを基準とし、「あり」とは引き込みが有る場合、「なし」とは引き込みが無い場合である。	

特　記　事　項	①周知の埋蔵文化財包蔵地（安長寺遺跡）に存することから、建物の新築や土木工事により土地を掘削する場合には、埋蔵文化財包蔵地発掘の届出が必要である。 ②目的土地に存する旅館は、既に閉鎖しているが、水質汚濁防止法の特定施設の届出（66の3　旅館業　イ　ちゅう房施設　ハ　入浴施設）がなされている。しかしながら、規模が小さい一般的な食堂及び浴室であるため、有害物質を取り扱っていた可能性は低いと思われる。現地調査、当事者等からの聴取した範囲では、土壌汚染をうかがわせる事実は認められない。ただし、土壌汚染の有無とその範囲を正確に把握するには、専門業者による詳細な土壌汚染調査を実施する必要がある。

２．建物の概況及び利用状況　（物件3）

区　　分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日（登記記載）：　昭和56年12月8日　新築 経　過　年　数：約　45　年 経済的全耐用年数：約　40　年 経済的残存耐用年数：約　0　年
仕　　様	構　　造：鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 屋　　根：陸屋根 外　　壁：吹付タイル、サイディング、タイル　ほか 天　　井：ビニールクロス貼、化粧合板　ほか 床　　：フローリング、タタミ　ほか 内　　壁：じゅらく、ビニールクロス貼　ほか 設　　備：電気、ガス、給排水設備　等 そ　の　他：特になし
床面積（現況）	1階部分に未登記の増築があり、現況の床面積は、 「第３　目的物件」の特記事項に記載のとおりである。
現況用途等	現況用途：旅館 間　取　り：別添「間取図」参照
品　　等	使用資材：概ね普通 施工状態：概ね普通
保守管理の状態	劣る 経年劣化による傷みが激しく、現況調査報告書に記載の損傷がある。継続利用するためには相当のリフォームが必要である。
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり。
特記事項	①建物に付属する各種設備については、動作確認までは出来ないため、使用可能かどうか不明である。 ②所有者によれば、24年位前に1階部分の増築を行った。また、5年位前に食堂の改装を行った。 ③昭和56年12月8日に建築された建物であるが、旧耐震基準（昭和56年6月以前の耐震基準）による設計である可能性がある。朝倉県土整備事務所によれば平成11年5月以前の建物の記録は保管してないとことである。したがって、目的建物の建築確認年月日は調査することが出来なかった。 ④外観からは吹付アスベスト等の使用の有無を把握することは出来ないが、建築時期や構造等から判断すると、アスベスト含有材等が一部使用されている可能性は否定出来ない。正確に把握するには専門業者の調査を要する。

第５ 評価額算出の過程

1. 基礎となる価格

（１）建付地価格（物件１・２一体）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格（円／㎡） ア	個別格差 イ	地積（㎡） ウ	建付減価 エ	建付地価格（円） ア×イ×ウ×エ
1	35,500	0.81	176.79	0.90	4,580,000
2	35,500	0.81	203.00	0.90	5,250,000

【注】計算結果の数値は、万円未満を四捨五入した。（以下同じ）

ア 標準画地価格 ： 基準地 「朝倉(県)5-1」の公示価格等を規準として査定した。

公示価格等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格

$$52,000円/㎡ \times \frac{103}{100} \times \frac{100}{100} \times \frac{100}{151} = 35,500円/㎡$$

◇ 時点修正 ： 公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇ 標準化補正 ： 補正要因なし 1.00

◇ 地域格差 ：

街路条件		接近条件		環境条件		行政的条件		地域格差
1.10	×	1.02	×	1.40	×	0.96	＝	1.51

イ 個別格差 ：

規模大		埋蔵文化財包蔵地		個別格差
0.90	×	0.90	＝	0.81

ウ 地積 ： 登記数量による。

エ 建付減価 ： 建物と敷地との適応の状態、将来発生する解体費用等を考慮した。

（２）建物価格　（物件3）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 （円/㎡） ア	現況延床面積 （㎡） イ	現価率 ウ	建物の価格 （円） ア×イ×ウ
3	190,000	約535.33	0.01	1,020,000

ウ　現価率：（査定）

物件3は、建築後相当年数を経過しており、既に経済的耐用年数を満了している。従って、残価率5%を基本に保守管理の状態を勘案した観察減価法による補正を施して現価率を査定した。

	残価率		観察減価法			現価率
物件3：	0.05	×（1 −	0.9	）	＝	0.01

＊観察減価法による補正率は、保守管理の状態を考慮。

2．評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

（1）土地利用権等価格

番　号	建付地価格（円） ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格（円） ア×イ
1	4,580,000	0.10	場所的利益	460,000
2	5,250,000	0.10	〃 ~~法定地上権~~	530,000
			計	990,000

イ　土地利用権等割合：　土地利用権等を場所的利益と判定し、その割合を10%と査定した。

（2）内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格（円） ア	土地利用権等価格の控除及び加算（円） イ	占有減価修正 ウ	市場性修正 エ	競売市場修正 オ	評価額（円） (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	4,580,000	－　460,000		0.50	0.70	1,440,000
2	5,250,000	－　530,000		0.50	0.70	1,650,000
2	1,020,000	＋　990,000	1.00	0.50	0.70	700,000
一　括　価　格　（　合　計　）						3,790,000

ウ　占有減価修正：　修正の必要は無い。

エ　市場性修正　：　老朽化した旅館の需要は乏しいこと、建物のリフォームや解体に高額な費用がかかる可能性があること、旧耐震基準の建物の可能性があること、アスベスト含有材が一部使用されている可能性があること等を考慮した修正率。

オ　競売市場修正：　評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第６　参考価格資料

基準地標準価格 ： 基準地「 朝倉（県）5-1 」
所　　在 ： 朝倉市甘木字馬場口677番9外
住 居 表 示 ： ー
価　　格 ： 52,000 円/㎡　　（対前年変動率　 3.0% ）
価 格 時 点 ： 令和7年7月1日
地　　積 ： 310㎡
地 域 の 概 要 ： 中規模の小売店舗等が建ち並ぶ商業地域
接 面 街 路 ： 南 側 幅員 約20.0m 県道
供給処理施設 ： 水道、下水
位　　置 ： 甘木鉄道「甘木」駅の南東方、道路距離600m。
用 途 指 定 等 ： 近隣商業地域　　（建ぺい率 80% 、容積率 200% ）
準防火地域

第７　附属資料の表示

1	位置図	2	葉
2	土地建物位置関係図	1	葉
3	間取図	2	葉
4	現況写真	2	葉

（ＢＩＴ用は位置図のみ添付。その他は現況調査報告書を参照）

以　上

地理院地図
GSI Maps

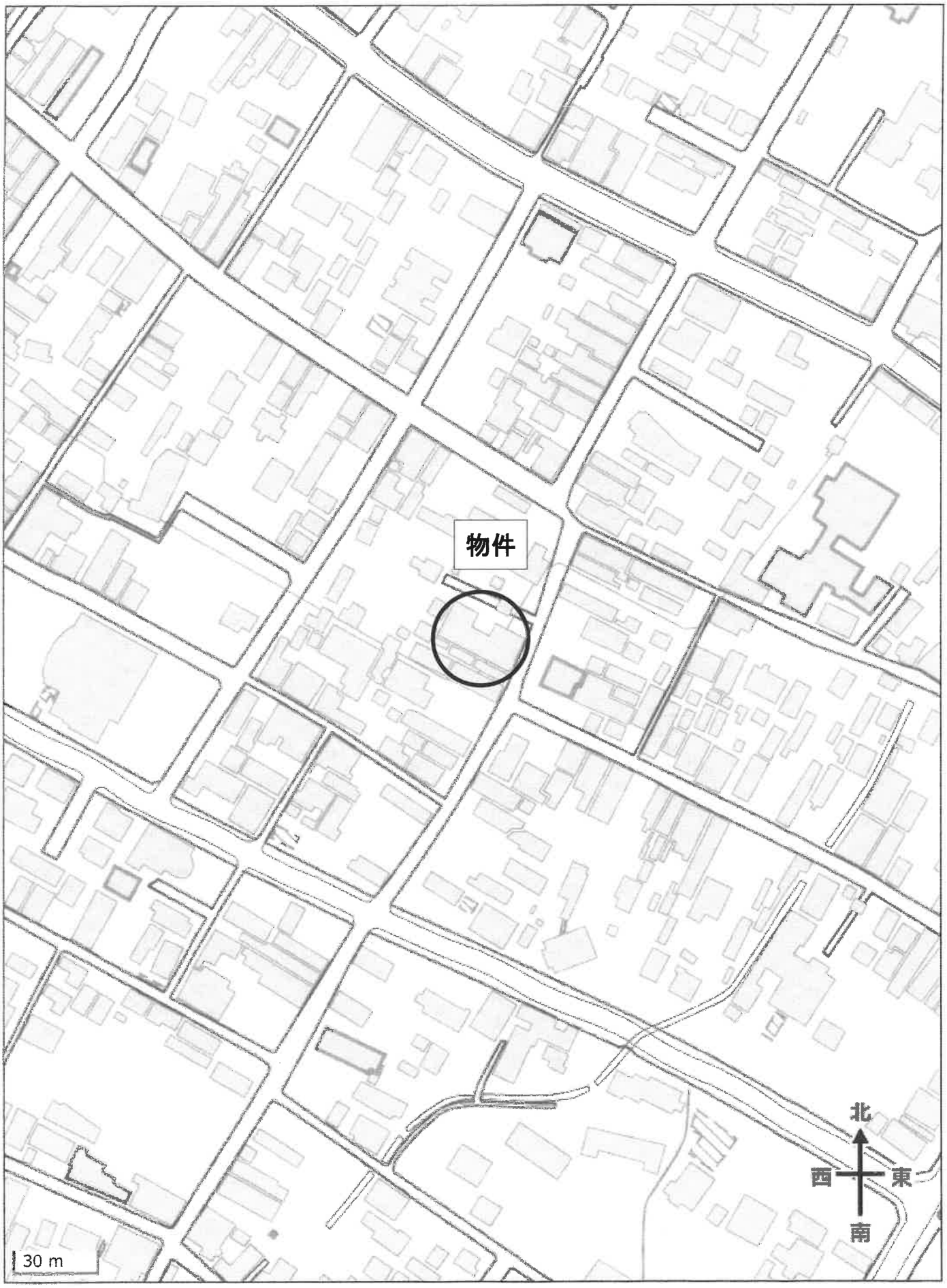
位置図①



「国土地理院　電子地形図(タイル)」より引用

地理院地図
GSI Maps

位置図②



「国土地理院　電子地形図（タイル）」より引用